

新型コロナウイルスワクチン詐欺にご注意！

各自治体でワクチン接種の予約が開始されていますが、「新型コロナウイルスワクチン詐欺 消費者ホットライン」には自治体職員をかたり、「ワクチン接種の予約を代わりに申請する」と来訪してきたり、「ワクチン接種の説明に行く」と電話をかけ、来訪しようとする事例がみられます。

相談事例 1

先日、自宅マンションに「新型コロナウイルスワクチン接種の予約がなかなかとれないので、予約の代行をします」と男性が訪ねてきた。「市役所から来ました」というので部署名や担当者の名前を尋ねたところ、ごまかして帰って行った。料金については何も言っていなかった。（相談者：40歳代 男性）

相談事例 2

高齢の母親が住む自治体の職員を名乗った電話があり、「新型コロナウイルスワクチン接種の申し込みを受け付けた。役員が説明に伺うので都合のいい日を教えてほしい。住所はこれで合っているか」と住所の確認をされたうえ、翌日の午後に約束をしたそう。予防接種の予約はしていないが、母は娘である私が予約をしたと思い、質問に答えたそう。（相談者：60歳代 女性、母親：80歳代）

アドバイス

・自治体名を出して、「ワクチン接種の予約代行をする」と言われてもその場では応じず、お住まいの自治体に確認してください

予約代行の費用として金銭を要求されたり、接種予約に関連して個人情報を聞かれたりする可能性もあるので応じないようにしましょう。

接種については、市町村から「接種券」と「接種のお知らせ」が届くので、電話やインターネットで予約をする、という流れになります。予約の方法等については、「接種のお知らせ」等の記載を確認するとともに、自治体によってはホームページに電話が混み合う時間帯を記載していたり、予約をサポートする取り組みを行っていたりすることもありますので、各自治体にご確認ください。

い。

・ワクチン接種に関連付けて金銭を求められたり、個人情報を聞かれたりしても応じないでください

ワクチン接種は無料です。「ワクチン接種の費用」、「優先して接種を受けるための費用」など、ワクチン接種に関連付けて金銭を求められても決して応じてはいけません。

また、行政機関（国や市区町村等）や団体等が、「ワクチン接種の説明に行く」などと来訪したり、「ワクチン接種に必要」などと言って個人情報や金融機関情報などを電話やメールで聞くことはありませんので、個人情報や金融機関情報などを聞かれても答えないでください。

参考資料：国民生活センターのウェブサイト

少しでも疑問を感じたら、すぐに消費生活センターへ相談を！

あきらめしないで、消費生活センターにご相談ください。

【問い合わせ先】

伊奈町消費生活センター ☎048-721-2111（内線 2234）

月曜日から木曜日（10時～15時）

新型コロナワクチン詐欺 消費者ホットライン ☎0120-797-188

相談受付時間 10時～16時（土曜、日曜、祝日を含む）

